

# 「安心して住み続けられる街づくり」をご一緒に進めていきましょう

日本共産党 御殿山支部

## ★ アンケートへのご協力ありがとうございました

御殿山地域にお住まいの皆さん！私たち日本共産党は、「国民が、誰もが平和で安心して暮らせる社会にしたい。また、この街に住んで良かったなあと思える街づくりをしたい」と日々の活動に努力しています。

## ◎ 私たちには、「実績」があります！

13年前にスタートさせた「京阪御殿山駅とその周辺を、住民の力でリフォームしよう」との運動は、周辺住民の皆様と一緒に運動し、2009年に、8年という歳月が掛かりましたが、「御殿山駅のバリアフリー化」と「西口改札」の実現という形で開花させることができました。

今回、私たちは「少子高齢化」が進む中、“安心して住み続けられる街づくり”に焦点をあて、当御殿山地域にお住まいの皆様方にアンケート（約1万枚配布）をお願いしました。アンケート結果の詳細については、裏面に掲載致しましたので、ご覧下さい。

## ◎ 寄せられたご要望の実現をめざします

ご存じのように「少子高齢化」が抱えているさまざまな問題は、日本中みな同じです。根本的な解決には、政治や地方行政がかかわらなければ、問題の解決は出来ません。

例えば、このアンケート結果でも、“子育て世代がこの街に流入してこない”という問題は、「保育所の待機児童が多く、入れない」「子ども達が安心して遊べる場がない」との若いお母さん方のご意見が多いように、枚方市の行政の貧弱さが問われています。また、老若男女を問わず、“生活道路の悪さや不便さ”などを訴えられていることにおいても、根は同じであると言えるのではないでしょうか。

皆様方からのご意見を踏まえ、今後の運動を進めるにあたり、困難な問題もありますが、少しでも便利になるような「住みよい街づくり」を、ご一緒に進めましょう。

「安心して住み続けられる街づくり」をめざす  
住民アンケートにご協力ください！

◎ あなたの住まいはどちらですか？  
① 市・町村  
② あなたの性別及び年齢は：（イ）男　（ウ）女　（ク）その他  
◎ あなたの職業は：（イ）会社員　（ウ）学生　（ハ）専業主婦　（シ）勤労者　（ス）無職　（ヘ）その他

問1. 生活環境（や「街づくり」）についてお答えください。

1. 住みやすい 2. 住みにい 3. どちらでもない

問2. 駅付近（JRなど駅が立たたずい駅）で生活していく中でも、中でも、メイン道路となっている御殿山駅～殿一小学校に向かっての狭くて危険な坂道道路は、早急な改善が求められます。また、「御殿山駅の危険な踏切」の改善は、引き続き大きな要求となっています。

問3. 御殿山地域で生活していくうえで、住民が心配する問題を複数選んでください。  
① 狹い道 ② 近くに店がない ③ 病院に行くのが不便 ④ 事故が頻発 ⑤ その他

問4. そのためこの地域で生活していくうえで、住民が心配する問題を複数選んでください。  
① 狹い道 ② 近くに店がない ③ 病院に行くのが不便 ④ 事故が頻発 ⑤ その他

問5. その他、この地域で生活していくうえで、心配していることを具体的にお聞かください。

アンケートへのご協力ありがとうございました。

## ★ ご意見から、改善すべき運動の方向性がみえてきました！

### ◆ 問題1. 「近くにお店がない」

当地域の住民は、生活されていく上で「近くにお店がない」との不便さを訴えられています。「買い物や通院にも利用できるコミュニティバスなどの公共交通」やNPOなどでの「小型・マイクロバス」運行などが求められています。

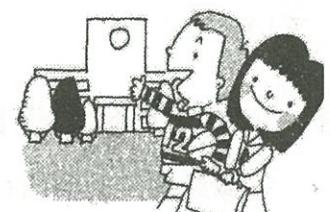


### ◆ 問題2. 「道路が狭く、危険な箇所が多い」

「道路」問題の深刻さが指摘されています。かなりの地域で消防車の入れない道路やデコボコのある危険な道路が・・・中でも、メイン道路となっている御殿山駅～殿一小学校に向かっての狭くて危険な坂道道路は、早急な改善が求められます。また、「御殿山駅の危険な踏切」の改善は、引き続き大きな要求となっています。

### ◆ 問題3. 「子育て世代が、移り住む街づくり」

子育て世代が移り住む街づくりは、近隣の都市に比べて大きく立ち遅れています。具体的には、「中学校卒業までの医療費助成の拡大」や「保育所の待機児の解消」、「安全な通学路及び遊び場」などの対策が急がれています。



※ その他、お寄せ頂いた137項目のご要望は、ウォッキングをして解決に努力します。

◎ 府政へのご相談は「おりぐち 熱」[TEL 072-844-6201]

◎ 市政へのご相談は「のぐち 光男」[TEL 090-8939-9491]

} お寄せ下さい

● 日本共産党 御殿山支部長 棚尾 修 [枚方市渚東町 29-13 TEL 848-7490]

# 「安心して住み続けられる街づくり」アンケート集約結果について

日本共産党 御殿山支部

- ◆ 配布枚数 約 10,000 万枚 ◇ 回答者数 157 枚 (12月末現在) ● 回答者率 1.57%
- 回答者の年齢別順位 ① 70代 (25%) ② 60代 (21%) ③ 50代 (12%)  
④ 40代, 80代 (各 10%) ⑤ 30代 (9.5%)
- ★ 回答者の性別 男性 (35%), 女性 (63%), 記述なし (2%)

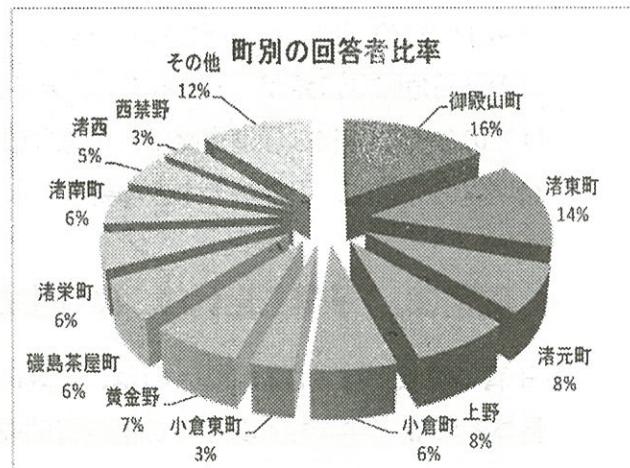
## ◎ 回答者の分類別データ [※但し、当データは 12月末現在の返信分のみ]

### 1. 年代別と男女別の回答者数

上記の通り、年代別の回答者数は、60歳代～70歳代が最も多い、全体の 46%を占めました。また、男女別では、女性の方が多かったです。

### 2. 町別の回答者比率

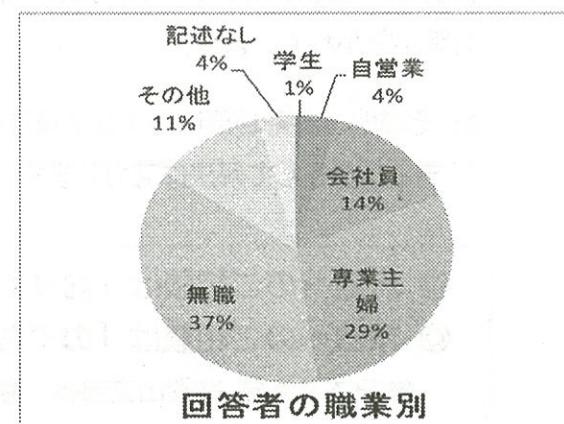
町別にみた回答者比率は、当御殿山地域の比較的高台にお住まいである御殿山町・渚東町・渚元町・上野・小倉町・小倉東町などが、全体の 55%と半数以上を占めています。これは、平地に住んでおられる方より、高台に住んでおられる方のほうが、生活環境の大変さを示すものとなっています。



### 3. 回答者の職業別比較

各職業別の回答者比較は、無職と専業主婦にその他を含めると、全体の 77%を占めています。

これは、回答なさった方が年金生活をされている高齢の方が多いのではないかと判断しています。

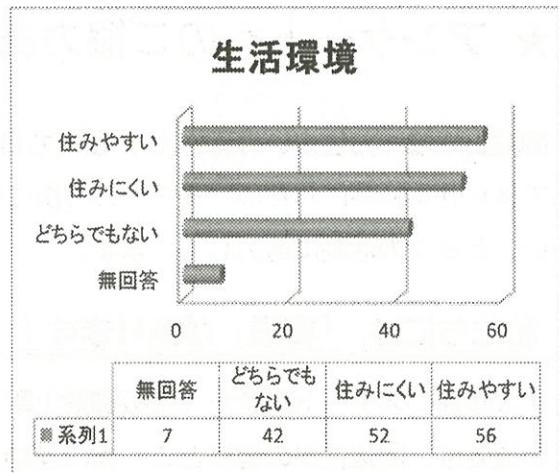


## ◎ 設問についてのデータ

### Q. 1. 生活環境は?

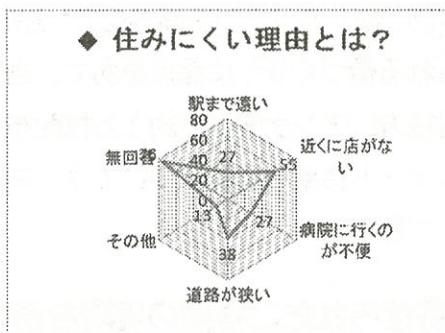
当御殿山地区における生活環境については、右記の通り「住みやすい」(56名)と「住みにくい」(52名)とほぼ同数であった。

しかしながら、「住みやすい」と回答された方の多くも、たくさんの方の要求があることから、私達の設問が不十分だったと反省しています。



### Q. 2. 「住みにくい」と回答された方の理由 (複数回答可)

右図のように、「住みにくい」と回答された方は、無回答の方を除いて最も多かった理由として…



### Q. 3. 生活していく上で、改善が必要なこと。(複数回答可)

問3	1 買い物や通院にも利用できるコミュニティーバスなどの公共交通がほしい	51
	2 生鮮食糧や日用品など近くで買い物する店がほしい	75
	3 地域等での見守り支援、自宅で家事支援がほしい	19
	4 道路や歩道がデコボコしていて、狭くて危ないので直してほしい	75
	5 気軽に「寄り合い」や「趣味の会」ができる公共の集会施設がほしい	27
	6 高齢者や障害者児に優しい気配りのある道路、生活環境、小施設(休憩用ベンチの設置等)がほしい	64
	7 子どもの通学路の安全確保をしてほしい	42
	8 子どもが安心して遊べる施設を整備してほしい	45
	9 保育所を増やして、待機児童をなくしてほしい	23